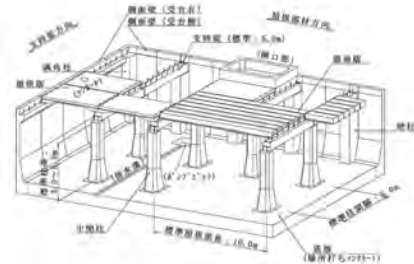
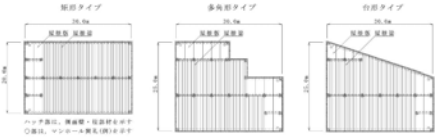


1 技術概要

整理番号	T-00093
技術名称	プレキャストP C部材組立式雨水貯留施設「エコマモール」
申請機関名	川田建設株式会社
技術の概要	「エコマモール」は、雨水貯留槽として2004年に当社が開発し、国土交通省新技術情報提供システム（NETIS登録No.HR-050005-A）に登録されている技術です。除染の中で発生する排水あるいは廃棄物をコンクリート製地下構造物として貯水又は貯蔵します。また、敷地形状に柔軟に適応します。  「エコマモール」の概要
技術の優位性	◇プレキャスト・P C技術の活用 プレキャスト製品なので、急速施工が可能となります。 屋根部材をP C部材とすることで、大空間が確保できます。 ◇フライアッシュコンクリートの利用 フライアッシュコンクリートを用いることによりコンクリート中のイオン低拡散化が図れ、物質の漏洩抑制効果が向上します。  エコマモール内の貯水状況
注意点	放射性物質汚染対策特措法等による安全対策、環境影響への対応に従う。
研究・実用化段階	実用化段階
今後の開発計画	特になし
特許	特許第4171403号
参考サイト	国土交通省新技術情報提供システム（NETIS登録No.HR-050005-A） 
補足資料	プレキャストP C部材組立式雨水貯留施設「エコマモール」  (PDF 形式：429KB)
備考	屋根部材に、長支間(10m)用の屋根梁と、短支間(5m)用の屋根版を用意しています。両者を組み合わせることによって、貯水（貯蔵）量や敷地形状に適応した施設の構築が可能です。  敷地形状に柔軟に適応する「エコマモール」

2 実証試験の概要及び結果

実証期間	2002年
実証場所	川田建設（株）技術研究所等
実証内容	以下の項目について検証した。 (1)構造特性－構造計算および接合部実物大試験 (2)機能特性－実物の調査試験および施設空間シミュレーション (3)施工特性－工期比較調査および組立試験
技術適用の効果	上記の検証結果より、以下のことが確認された。 (1) 雨水貯留施設に関する基準類に規定される性能を満足しており、「下水道施設の耐震対策指針」（社団法人日本水道協会）で規定されている大規模地震（兵庫県南部地震レベル）時にも構造が崩壊に至らないことが確認された。 (2)メンテナンス時の視界が良好で車両等を利用した清掃が可能であることが確認された。 (3)場所打ち施工に比べて施工工期を短縮でき、梁・版部材の組立てがPC鋼材緊張工を必要とせずプレキャスト部材を容易に組み立てられることが確認された。
作業員被ばく評価、作業における安全上の注意	－
コスト評価	貯留量10,000m ³ の雨水貯留槽としてのコスト対比 ・本技術42,433円/ m ³ ・従来技術43,252円/ m ³ （場所打ちコンクリート式雨水貯留施設）

3 現場における適用実績

適用実績	地下貯水槽として施工実績の一例を以下に示す。 ・圏央道川口トンネル北貯留槽（国土交通省関東地方整備局，平成18年7月完成） ・赤坂雨水調整池（岐阜県大垣市，平成19年4月完成） ・常永4号貯水槽（山梨県昭和町，平成21年8月）
------	--

4 専門家評価

専門家評価結果	
---------	--

5 連絡先

機関名	川田建設株式会社
部署名	技術本部技術部
電話番号	03-3915-5384
所在地	114-8505 東京都北区滝野川6-3-1

6 その他

検索用キーワード	地下貯水槽、防災、大空間確保、プレキャスト、高品質・高耐久
登録日	2013年12月19日
最終更新日	2024年3月4日